

## プレゼンテーション要旨

### プレゼンター

- ・ **みずほ証券常務執行役員 兼 みずほフィナンシャルグループ常務執行役員 木原正裕**

### P4 みずほ証券 第3四半期決算ハイライト

連結ベースの経常利益 687 億円、米国拠点合算ベースの経常利益 1,252 億円はそれぞれ過去最高となった。みずほ証券は、米国規制によって米国みずほ証券を連結対象外としているが、米国みずほ証券を一体で運営しているため、米国みずほ証券、MCM を含む米国拠点合算ベースの数字も記載している。

### P5 みずほ証券 第3四半期事業部門別概要

内外市場が活況な中、収益をしっかりと稼ぐことができ、グローバル投資銀行部門の経常利益は 331 億円、グローバルマーケット部門の経常利益は 711 億円となり、それぞれ過去最高となった。リテール・事業法人部門はグローバル・エクイティ戦略を進めていく中で、様々な顧客ニーズを獲得し、経常利益 283 億円を計上している。

### P6 みずほ証券の軌跡

16 年度は経常利益 946 億円という当時の最高益を計上したが、その後マーケット環境が悪化する中、過去の投資に対するコスト増もあり 18 年度には 366 億円まで低下する事になった。19 年度より、ビジネス、財務、経営基盤の三位一体の構造改革を行うと同時に、各部門の連携を再構築する改革に取り組んだ。その結果、経常利益は 19 年度に 607 億円、20 年度は 3Q 累計で 1,252 億円、通期計画で 1,300 億円まで改善している。

### P7 構造改革を通じたベース収益力の強化施策とその成果

みずほ証券の強みは銀行と証券が連携することでビジネスを構築していくことにある。

加えて、収益源の多様化のため、リテールおよび米州を中心に収益の強化を図り、低採算領域のボトムラインコントロールを行っている。

リテール・事業法人部門：16 年度から長期・分散・継続投資を訴求し、グローバル・エクイティ・ファンド戦略を推進し、預かり資産を拡大させてきている。

グローバル投資銀行部門(GIB)：銀・信・証一体となって、お客さまのニーズに応じて、シームレスにソリューションを提供してきた。その結果、ECM 等のファイナンス領域でシェアを拡大している。

グローバルマーケット部門(GMK)：Fixed income はデリバティブビジネスを強化している。これまで分かれていた銀行と証券の基盤を統合し、一体運営によって収益力は向上している。エクイティは、従来は自己勘定取引中心であったが、顧客取引と連動したフローの収益化にビジネスモデルを変えた。

米州：銀行と証券、カバレッジとプロダクツ、プライマリーとセカンダリーの一体化からなる CIB モデルを推進することで収益を増加させている。

財務基盤:不採算領域であるリテール、MCM、国内エクイティ、MHI のボトムラインコントロール、経費削減を行い、約 350 億円の改善効果が出ている。

経営基盤:システム・人事制度改革に取り組んでいる。複雑なシステム構造を簡素化し、費用削減を図っている。

## **P8 具体的な取組み**

### **[リテール・事業法人部門]**

預かり資産は 44 兆円と、18 年 3 月末対比で+6.1 兆円と、強みである銀行との連携により、大きく増えている。基幹ファンドであるグローバル・エクイティ戦略ファンドは含み益 1.4 兆円、残高 3.5 兆円に拡大した。公募株式投信も 7 四半期連続で増加している。

また、競争力を維持するため、DX を活用し、人材力の底上げ及びマーケティングの高度化に取り組んでいる。併せて、損益分岐点を下げるため、約 100 億円の経費削減を行っている。

### **[グローバル投資銀行部門]**

国内リーゲテーブルでは SDGs 債・ハイブリッド債ともに 1 位を確保している。米国 DCM(IG 債)は 10 位から 8 位に上昇し、シェアは約 1%改善した。エクイティも 29 位から 16 位に、シェアは 1.2%にジャンプアップしている。

### **[グローバルマーケット部門]**

銀行・証券のカバレッジ、各事業部門が連携し、様々な顧客フローを作って収益化する、というビジネスモデルに変えてきている。Fixed income のデリバティブビジネスについては、銀行も含め、様々なフローを取り込み、一体運営を推進している。その結果、内外合算で粗利が 200 億円改善している。エクイティは注力・縮退を図り、内外合算で 200 億円の効果を上げることができた。

### **[部門横断]**

証券ビジネスは各部門が連携し、ビジネスを作り上げている。

例えば、リテール・事業法人部門と GIB が協働し、米州のプラットフォームを作りながら、ミドルキャップの発行体へ短期間でファイナンスを提供する ABB に取り組んでいる。欧州の MHI は苦戦しているが、粗利・コスト両面の構造改革を行い、50 億円の効果が上がっている。